＜　沖縄県立北谷高等学校　＞

芸術科　書道Ⅰ　授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
芸術科	書道Ⅰ	2	1学年	1, 3, 4, 5, 6

1　学習目標

使用教科書・副読本等	光村図書　　「書Ⅰ」		
指導目標	書道を楽しむ態度をとおして感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力をのばしていく。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2　学習計画

＜評価の観点＞　1　関心・意欲・態度　2　話す・聞く能力　3　書く能力　4　読む能力　5　知識・理解

学期	月	週	学習内容	学習のねらい	時間
1学期	4	1 2	書道の学習を始めよう	執筆法・用筆法や用具・用材について知り、書道の学習における基本的な事項を理解します。	4
	5	3 4 5 6	一　漢字仮名交じりの書の学習 (一) １書道に親しむ ２書写からの展開 ３さまざまな表現	身近な言葉や詩文を題材に、漢字と仮名の調和を図り、用具・用材や字形・文字の大きさ等の全体構成を工夫して、自分の意図に基づく表現の方法を学びます。	8
	6	7 8 9 10	漢字の書 二　楷書の学習 １さまざまな楷書 ２厳正と温雅 ３重厚と軽快	漢字の楷書の古典に基づく学習により、書の多様な表現の可能性にふれます。 代表的な楷書古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景などの知的理解をします。 基本的な点画や線質の表し方と、用筆・運筆の関係を、臨書学習により習得します。	8
	7	11 12 13	４方勢と円勢 ５楷書の鑑賞と臨書	これらの活動を総合し、各古典の特徴を把握し表現する方法を学びます。	6
2学期	9	14 15 16 17	三　行書学習 １さまざまな行書 ２行書の特徴 ３聞亭序の鑑賞と臨書 ４争坐位稿の鑑賞と臨書 ５風信帖の鑑賞と臨書	行書の特徴についてりかいします。 代表的な行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等関する知的理解を経て、 臨書学習により各古典の特徴を把握することにより行書の基本的な用筆法を 習得します。	8
	10	18 19 20 21	楷書・行書による創作 楷書・行書による作品の鑑賞	学習した楷書または行書の古典を題材とし、習得した技法を生かして 創作を行います。	8
	11	22 23 24 25	九　漢字仮名交じりの書の学習 １言葉と表現 ２用具・用材の工夫 ３文字の大きさ、全体の構成の工夫 ４古名跡を応用して書く ５漢字仮名交じりの書の表現	これまでに学習した漢字及び仮名の古典の学習をもとに、その表現応用した 漢字仮名交じりの書の創作を行います。 詩文、形式、用具、用材、構成などを工夫し、漢字と仮名の調和の方法を考え、 自分の感性をどのように表現していくかについて考えます。	8
	12	26 27	６硬筆の学習		4
3学期	1	28 29・30 31	五　篆刻の学習 １篆刻について ２篆刻の用具・用材	姓名印を刻し創作作品に押印します。	8
	2	32 33 34	３刻る手順		6
	3	35	まとめ		2